

# 三島茶碗って何？

室町時代末期に朝鮮陶工たちの作成による日用品の素朴な茶碗が輸入され日本の茶人たちの目にふれたのが始まりです。

この茶碗を手にとった茶人たちはその模様が三嶋暦の仮名の刻線に似ていたことから三島茶碗と名づけたのであろうと云う説が一般的です。

この茶碗の技法は、灰色の上の素地に細かいヘラやスタンプで型押しした上に白土で化粧し透明釉をかけて焼いた器で、韓国では粉青沙器と呼ばれています。

現代でも日本各地の陶芸家により三島茶碗が作られています。

# 体験コーナーと各種イベント

三嶋暦師の館では皆さまに、暦の歴史や文化に併せて多様な体験をして頂けるような企画をして、ご来館をお待ちしています。

三嶋暦の印刷体験(常時)をはじめ、三嶋暦を使った小田原提灯づくり・三島茶碗づくり・雛人形づくり・中秋の名月観賞・紙漉き・暦講座などです。

そのようなことから、ボランティア活動を含めて各種団体(三島市郷土資料館・三島市ふるさとガイドの会・月光天文台ほか)との協働活動などを行なっています。



いつでもできる三嶋暦の印刷体験



三島茶碗の色々



熱心な人たちで満席の講演会



十五夜の下、懐かしの歌を合唱



三嶋暦を貼った小田原提灯



大小の文字を刻んだ告知板を掲げ、晦日(当時の決算日)を間違えないように注意しました。



## ご案内



一



二

大社総門の手前を右折、堀に沿って進んで下さい。スタート!

三嶋大社総門より徒歩で約5分!!

トイレ横を通りすぎると地面に案内標示があります。



三



四

ゴール! 三嶋暦の歴史をお楽しみ下さい。

案内標示に沿って歩いて下さい。自動車に注意!!

## 交通案内

- バス** 三島駅南口①番乗場より東回り循環バスで三嶋大社西下車(約5分)
- 徒歩散策** 三島駅南口より東方へ約1.2km(約20分)
- 駐車場** 三嶋大社駐車場(有料)。三嶋暦師の館には駐車場がありません。

## 開館時間

午前9時30分～午後4時30分  
注: 20人以上の団体の場合には予約が必要です。  
「三嶋暦師の館」まで1週間前までにご連絡下さい。

## 休館日

毎週月曜日 (その日が国民の祝日の場合には、その翌日となります)  
年末年始 12月27日から翌年の1月1日まで

## 入館料など

三嶋暦師の館の見学料は無料です。

所在地  
お問合せ

## 三嶋暦師の館

〒411-0035 静岡県三島市大宮町2-5-17 TEL・FAX 055-976-3088  
三嶋暦の館ホームページ <https://mishimagoyomi.web.fc2.com/>

発行元 三島市



# 三嶋暦師の館

三嶋暦と親しもう

